

石油ストーブによる死亡事故

事故の概要

【事例①】

使用中の石油ストーブから出火し、住宅1棟を全焼、隣接する建物8棟を焼損し、1人が死亡、1人が重傷を負った。

【事例②】

石油ファンヒーター及び建物を全焼する火災が発生し、1人が死亡した。

事故の原因

【事例①】

給油後、給油口キャップを斜め締めにしていたため石油ストーブへ戻す際に灯油がこぼれ、拭き取りが不十分な状態で点火したため灯油に引火し、燃え広がったものと考えられる。



【事例②】

焼損した石油ファンヒーター周辺からガソリン成分が検出されたことから、使用者が誤ってガソリンを給油し、気化したガソリンに引火したものと考えられる。



nite再現映像



事故防止のために

- ◆給油する前に必ず消火する。給油後は、給油口キャップをしっかりと締め、灯油がタンクから漏れていないことを確認してから本体にセットする。
- ◆灯油は灯油用ポリエチレンかんなどの専用容器に入れ、ガソリンと別の場所で保管する、ラベル表示で区別するなど、誤使用を防ぐための対策を徹底する。
- ◆PSCマークの付いた製品への買い換えを検討する。